

よくわかる BCC

コンパイラ環境の構成方法

ということで、BCC でのコンパイラ環境を作りましょう。

まず、以下のモノをダウンロードしてください。

- Borland C++ Compiler(要ユーザー登録)
- SetBcc
- BCC Developer

それぞれの URL

- <http://www.codegear.com/jp/downloads/free/cppbuilder>
- <http://www.vector.co.jp/soft/win95/prog/se149182.html>
- http://www.hi-ho.ne.jp/jun_miura/bccdev.htm

まず、Borland C++ Compiler が入っている freecommadlinetoos.zip を解凍。

C ドライブにインストール。インストールの設定は変更しないことをおすすめします。後の設定が面倒なので。

インストール後、SetBCC を使って BCC の設定を最適化してもらいます。

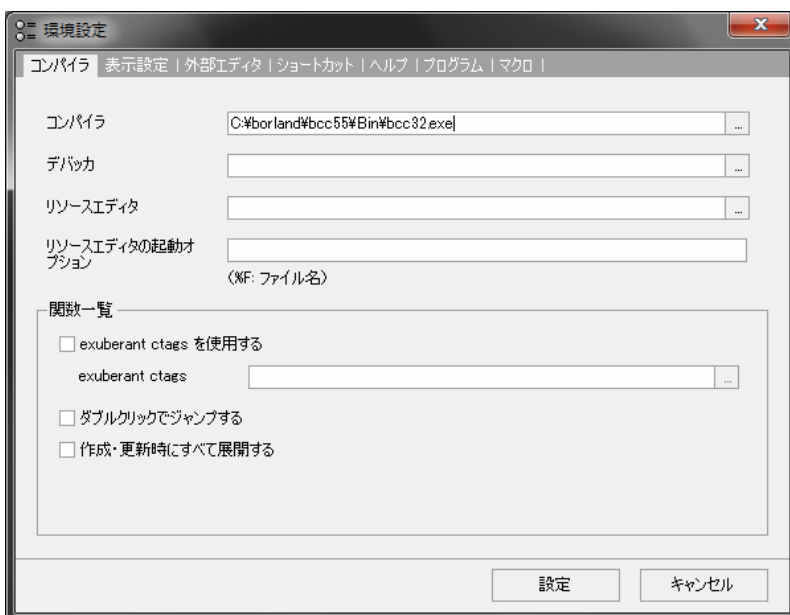
Windows 2000 以降の OS なら基本的に「次へ」をクリックしていったら大丈夫です。

SetBCC に再起動してくださいと言われたら再起動してください。

再起動後、BccDev を任意の場所に解凍して実行してください。

すると、ウィンドウが表示されます。

「コンパイラ」は「C:\borland\bcc55\Bin\bcc32.exe」を選択してください。



これで設定完了です。

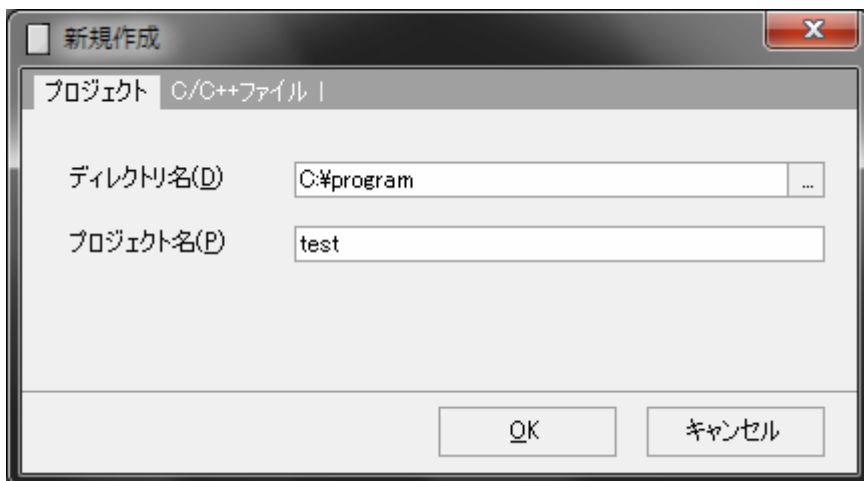
このエディタの使用方法を説明します。

「ファイル」→「新規作成」

で新しいウィンドウが表示されますので、

「ディレクトリ名」には「C:\program」など、ソースコードを記録しておく場所を指定
プロジェクト名には任意の名前を入力してください。

ここでは「test」にします。



もう一度新規作成を押します。

今度は、C/C++ファイルの方で、

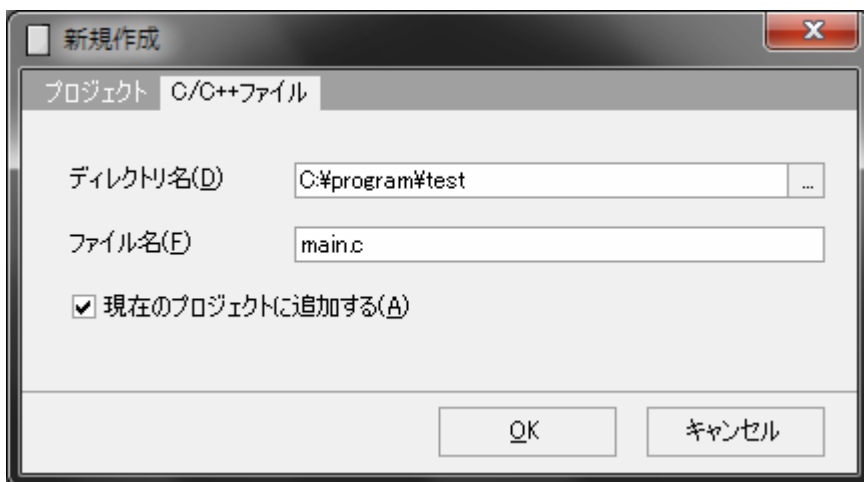
ディレクトリ名はそのまま、

ソースファイルなら、ファイル名には「main.c」など、「半角文字」+「.c」

ヘッダーファイルなら、「resouce.h」など、「半角文字」+「.h」

を入力してください。

今回はソースファイルを作るので、「main.c」とします。

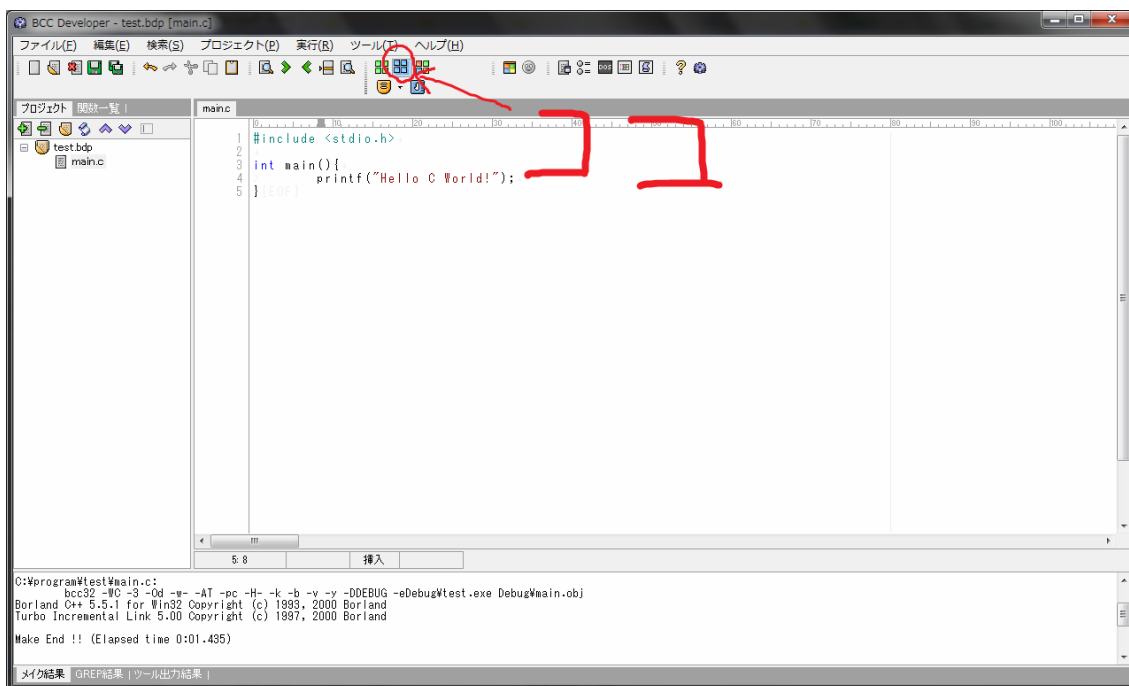


main.c に以下を入力

```
#include <stdio.h>

int main(){
    printf("Hello C World!");
}
```

メイクします。



「メイク結果」に「error」という文字が含まれていなかったら成功です。

メイクしたプログラムの実行方法

